

## 第1期広島県県営林中期管理経営計画の達成状況について（案）

## 1 要旨

県営林長期管理経営方針に基づく県営林中期管理経営計画については、平成30年度末に第1期（平成26～30年度）が終了することから、成果及び課題について検証した。

## 2 対象

平成26年度から29年度までの4年間に実施した県営林事業の経営改善の取組を検証対象とした。

## 3 検証の視点

第1期の実施方針である「木材生産・保育事業において、5年後に一般会計に依存しない経営の確立」の取組状況や、経営改善目標である「生産性の向上」、「直接協定取引の導入割合」、「素材生産量の拡大」について、これまでの取組による成果や課題を分析した。

## 4 検証結果（概要）

経常利益の確保については、コストの削減や有利販売に取り組んだ結果、平成28年度から経常利益の黒字化を達成した。

また、経営改善目標について、「生産性の向上」及び「直接協定取引の導入割合」は平成29年度時点で目標（平成30年度）を達成したが、「素材生産量の拡大」は平成29年度時点では目標（平成30年度）の達成に至っていない。

一方、継続する課題として、作業の効率化やコスト削減、有利販売などの課題があるとともに、新たな課題として、各事業地の現況把握が進んでいないため施業候補地の確保が困難になっていることや、作業道の作設など県営林事業が求める基準に対応可能な請負事業者の確保が困難になっているなどの課題が生じている。

実施方針	目標	達成状況	成果	主な課題	
5年後に木材生産・保育事業に一般会計に依存しない経営の確立	経常利益の確保	目標(H30) 49百万円 H29実績 25百万円 H28実績 18百万円	コスト削減や有利販売に取り組んだ結果、平成28年度から経常利益の黒字化を達成した	安定的な木材生産及びコスト削減や有利販売の一層の推進による経常利益の確保が必要である	
	経営改善目標	の生産向上性	目標(H30) 8.0 m <sup>3</sup> /人・日 H29実績 8.4 m <sup>3</sup> /人・日	利用間伐において作業の効率化に取り組んだ結果、生産性が着実に向上した	施業地内の集材距離が長いなど、搬出条件の悪い施業地では、作業の効率化やコスト削減が進まなかった
		の直接協定取引の導入割合	目標(H30) 40% H29実績 87%	直接協定取引により、流通コストを削減するとともに、有利な販売先を確保することができた ヒノキ直・小曲材の有利な販売先を確保できた	一部の協定取引では、仕分け・運送コストが掛かり増しになった ヒノキ曲材・スギ材の有利な販売先を十分に確保できなかった
		素材生産量の拡大	目標(H30) 53千m <sup>3</sup> H29実績 49千m <sup>3</sup>	事業の早期着手や月次の工程管理に取り組んだ結果、素材生産量が着実に増加した	事業地・事業体の確保の困難化などから、素材生産量の確保が困難になっている
新たな環境変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年7月の豪雨災害による影響（路網の被災）</li> <li>平成31年10月の消費税増税による影響（木材需要低下の可能性）</li> </ul>				